

《小学校高学年の部》

「あいさつからはじめよう」

有田市立箕島小学校 5年

上田^{うえだ} 蘭菜^{らんな}さん



わたしは、高れい者体験でたくさんの事を学びました。実際に高れい者のようになって目や耳、手の不自由さや、体全体、関節の動きにくさを体験しました。

その時に実感したのが、生活をするこの不便さによる苦つうでした。目や耳の不自由な生活、体の不自由な生活などを想像すると、気持ちがとても暗くなってしまうました。わたしは、体験中、目が見えにくくなるだけでも、とてもこわかったし不安でした。また、歩きにくさや体の重さは、体力のあるわたしでもすごく大変で動きにくいと感じたため、体力のないお年よりにとっては、本当につらいだろうと思いました。また、こしを曲げたじょう態での階だんの上り下りは、思ったよりも視界がせまいため、周りの物に対して注意が必要だと感じました。こんな時、そばに誰かがいて助けてくれるとお年よりの人たちは心強いだろうと思いました。

今回の高れい者体験や話を聞いて、一番大切だと思ったことは、お年よりの人たちに対するあいさつや話しかけです。

お年よりの人たちは目が見えにくく、耳が聞こえにくいなど不自由なところが多く、その不便さで心が暗くなってくると思います。それが原因で病気になるってしまうかもしれません。どんな人との関わりがめんどうになり、一人の世界に入り込んでしまうような気がします。こういうじょう態にならないために、わたしたちができることは話しかけだと思いました。しかし、初めから話しかけたり声をかけたりするのはむずかしいと思うので、まずは、ひと言のあいさつを。

「おはようございます」や「こんにちは」から積極的に始めようと思いました。